

■ トピックス 北海道の文学 一八六八～二〇一七年

【注】事項は北海道文学とそれに関連したトピックスを、作品は小説を中心にした単行本出版を、一般は北海道の主な出来事を取捨選択して拾った。なお、単行本は二重括弧、雑誌掲載作は一重括弧とした。元となるデータは故・和田謹吾氏、木原直彦氏、平原一良氏らの先行研究のほか、「北海道の出版文化史」(北海道出版企画センター)、「北海道の20世紀」(北海道新聞社)、「北海道の歴史」(山川出版)などの書籍、インターネットなどを参考にした。年次と該当月がわかるようにしたが、不定期・不明の場合は*を入れた。

年次	事項	作品	一般
1868 * 明治元	中島木雞ら五稜郭で陣中句会楽しむ		4 新政府、箱館裁判所を置く
1869	8 「開拓使日誌」創刊		7 開拓使設置 8 太政官布告で蝦夷を北海道と命名
1870		松浦武四郎『蝦夷年代記』 大槻文彦「北海道風土記」	2 樺太開拓使設置
1871			7 ホーレス・ケブロン来日
1872	7 開拓使編『英和对訳辞書』		6 函館郵便役所設置
1873	10 開拓使「新報節略」創刊	榎本武揚『北海道巡廻日記』	8 札幌本道開通
1874			7 黒田清隆が開拓長官に任じられる 10 屯田兵例則を制定
1875		10 佐藤秀顕『千島紀行』	5 樺太・千島交換条約調印 最初の屯田兵、琴似に入植
1876	7 ウィリアム・S・クラーク札幌に来る		8 札幌農学校開校式举行
1877	4 ウィリアム・S・クラーク札幌を去る		9 新渡戸稲造ら札幌農学校二期生に
1878	1 「函館新聞」創刊。本道で初めて	11 クラーク編「札幌農学第一年報」	10 第1回農業仮博覧会、札幌開催
1879			1 札幌本庁の庁舎焼失 12 幌内炭山開坑
1880	6 「札幌新聞」創刊		8 十勝国に発生したバツタ大被害もたらす 11 札幌豊平館完成
1881			8 樺戸集治監設置 10 開拓使官有物払下げ中止(明治十四年の政変)
1882			2 開拓使を廃止、函館・札幌・根室に3県を置く
1883			5 札幌県師範学校開設
1884		1 ジョン・パチェラー『蝦夷今昔物語』	10 北海道水産協会設立
1885	7 幸田露伴、電気技師として余市に移住		
1886			1 3県1局を廃止し北海道庁を置く 6 北海道土地私下規則公布
1887	10 札幌最初の日刊紙「北海道毎日新聞」創刊	9 幸田露伴「突貫紀行」	全道で天然痘流行、多数の死者 12 札幌麦酒会社を設立
1888	2 松浦武四郎、東京で死去。満79歳 4 函館書籍館開設	5 高崎龍太郎『北海戯作百人一首』 11 三遊亭円朝『蝦夷錦古郷之家土産』	
1889	9 根室の佐々木総吉、雑誌「北友」を創刊	4 永山武四郎『周遊日記』	1 函館・江差・福山地方に徴兵令 12 三条実美・蜂須賀茂韶ら雨竜郡一帯に5万町歩の貸付をうける
1890		佐藤喜代吉『北海道旅行記』6冊	10 屯田兵、召募規則制定(平民屯田)
1891	4 小樽で「北門新報」創刊 7 中江兆民、小樽に移住	6 原抱一庵『闇中政治家』 9 木村昇太郎『札幌繁昌記』	9 私立北鳴学校、札幌に開校
1892	1 大竹元一らが短歌結社「小樽興風会」 4 夏目漱石、分家し岩内に戸籍を移す	5 開拓使編『北海道志上・下』	5 札幌大火で712戸焼失
1893	10 函館の「北海文学」創刊	6 武田仰天子『蝦夷錦』 9 幸田露伴『枕頭山水』	1 夕張炭山で400人が暴動
1894	1 新渡戸稲造、遠友夜学校創設	10 志賀重昂『日本風景論』	8 日清戦争始まる(95年まで) 12 幌内炭鉱、囚人使役中止
1895	9 国木田独歩が来道	5 内村鑑三『余は如何にして基督信徒となりし乎』	4 札幌、函館に尋常中学校設置
1896	8 有島武郎が札幌農学校に入学	3 三遊亭円朝『椿説蝦夷訛』	5 第七師団創設 10 上磯郡にトラピスト修道院設立
1897	11 有島武(武郎の父)が狩太農場入手	3 白瀬蘆『千島探検録』	3 北海道国有未開地処分法公布
1898	5 札幌で「北海日日新聞」創刊	4 神保小虎・金沢庄三郎「アイヌ語会話字典」	1 北海道全道に徴兵令施行 3 札幌で富貴堂(当初貸本屋)創業 9 全道に豪雨・洪水による大被害
1899	10 宮本百合子、零歳で札幌に移住	6 狩野信平『札幌案内』	3 「北海道旧土人法」公布 10 札幌・函館・小樽に区制施行
1900	10 「釧路新聞」創刊(12月廃刊)	11 栗本鋤雲著栗本秀二郎編『匏庵遺稿』	2 北海道拓殖銀行が設立総会
1901 *	道内各地で新聞創刊相次ぐ 11 「文武会雑誌」(農学校)創刊	1 幸田露伴ほか著『雪粉々』 11 国木田独歩「牛肉と馬鈴薯」	
1902	2 坂本直寛ら「北辰日報」を創刊	11 国木田独歩「空知川の岸辺」	12 道水産及び農事試験場開場
1903	7 稚内で「北見朝報」創刊。後に「樺太新聞」	7 鳥居龍蔵『千島アイヌ』	8 道内初の衆議院議員選挙
1904 *	飯塚露声ら文芸誌「サッポロ文学」創刊	1、4 菊池幽芳『乳姉妹』前・後	2 露戦争始まる(05年まで) 7 札幌農学校、のちの北大の地に移転 10 小樽・函館間鉄道全通
1905	5 夕張の大日本労働至誠会が機関紙「新同胞」	10 江見水蔭『海賊の子』前	9 露講和条約により南樺太を編入
1906 *	布川栄助、札幌に維新堂創業	9 河野常吉編『北海百人一首』	8 対雁移住アイヌの残留者395人、樺太へ帰還
1907	1 函館で歌誌「紅苜蓿」創刊 5 石川啄木、函館に移住。札幌、小樽にも	9 石川啄木「秋風記」	6 札幌農学校、東北帝国大学農科大学となる 8 函館大火、1万2390戸焼失 11 北炭と英社により日本製鋼所、室蘭に設立
1908	1 石川啄木、釧路新聞社入社 3 有島武郎、狩太農場の名義人に	1 石川啄木「雪中行」	3 国有鉄道青函連絡船営業開始 4 ロシアと樺太島の境界確定書調印 10 美術団体の黒百合会発足
1909	2 岡田健蔵ら私立函館図書館を開設	12 徳富蘆花『寄生木』	1 道庁本庁舎の内部全焼、公文書多数失う

			4 樽前山大噴火、溶岩円頂丘を形成
1910	1 「札幌グラフィック」創刊	4 志賀直哉「網走まで」 7 岩野泡鳴『放浪』 12 石川啄木『一握の砂』	4 北海道拓殖事業15年計画実施 5 函館・旭川間に直通旅客鉄道運転 9 遊楽館、札幌狸小路に誕生 王子製紙苫小牧工場開業
1911	5 武者小路実篤が札幌、小樽を訪問 高村光太郎、月寒種羊場の実習生に	1 有島武郎「或る女のグリンプス」 岩野泡鳴「断橋」	8 皇太子、本道に行啓 9 札幌に窮民施療のための天使病院
1912 大正元	* 並木凡平らが札幌で「北国文壇」創刊 * 米川正夫が旭川で詩誌「呼吸」創刊 8 小樽で文芸誌「海鳥」創刊	6 石川啄木『悲しき玩具』	4 夕張炭鉱でガス爆発、死亡269人 7 明治天皇崩御、「大正」に改元 この年、札幌の五番館、百貨店方式の営業開始
1913	5 宮沢賢治、修学旅行で初めて北海道に	11 山辺安之助著、金田一京助編『あいぬ物語』	4 薄野遊郭に花柳病治療院開設 この年、気候不順のため大凶作
1914		11 長田幹彦『零落』 素木しづ『三十三の死』	3 樺太鯨漁業の一井組、日魯漁業に 7 第一次世界大戦始まる(18年まで) 11 新夕張炭鉱でガス爆発、死亡422人
1915	7 三木露風、トラピスト修道院を訪れる 9 高田紅果ら小樽に文芸誌「白夜」創刊	9 長田幹彦『濤』	12 苫前村に大グマ出現し6人死亡
1916	4 小林多喜二、小樽商業に入学	11 素木しづ『悲しみの日より』	10 丸井今井百貨店が開店
1917	5 札幌アツシ會、川柳誌「アツシ」創刊	7 葛西善蔵「雪をんな」	12 薄野遊郭移転地を白石、札幌遊郭に
1918		2 有島武郎『カインの末裔』 3 素木しづ『青白き夢』	4 北海道帝国大学を札幌に置く 8 開道五十年記念北海道博覧会開会(140万人) 札幌の路面電車はじめて走る
1919	* 戸塚新太郎ら小樽に歌誌「くろばあ」創刊	9 中戸川吉二『イボタの蟲』 10 小田観蜚が歌集『隠り沼』	1 糸屋銀行、株式会社となる
1920	9 同人雑誌「路上」が札幌で創刊	1 南部修太郎『修道院の秋』 7 長田幹彦『金色夜叉終篇』上巻	6 夕張炭鉱でガス爆発、死亡209人 10 蜂須賀農場、小作料上げで争議
1921	3 北大文芸部「平原」創刊	2 岡田三郎『涯なき路』	4 函館大火、2041戸焼失
1922	7 有島武郎、狩太の農場内で解放宣言	5 有島武郎『星座』	8 道内全域で台風被害、死者117人 札幌・函館・小樽・旭川・室蘭・釧路、区制を廃し市政を施行
1923	6 有島武郎、軽井沢で心中自殺	8 知里幸恵編『アイヌ神謡集』(前年に死去)	1 雄別炭礦鉄道、釧路間を運行
1924	4 山下秀之助ら歌誌「原始林」創刊 小林多喜二ら小樽で「クラルテ」創刊	7 佐藤春夫「北海道へ」	7 樺太ノトロ岬沖で連絡船沈没
1925	6 詩と版画雑誌「さとぼろ」創刊 10 中島公園の農業館で第1回道展開く	3 山田順子『流るるまゝに』	8 青函航路、貨車輸送を開始
1926 昭和元	11 青木郭公が俳句誌「暁雲」創刊	11 吉田一穂詩集『海の聖母』 12 伊藤整詩集『雪明りの路』	5 十勝岳大爆発、各地に泥流被害 12 大正天皇崩御、新元号「昭和」となる
1927	5 芥川龍之介が函館・小樽・札幌・旭川講演 6 黒百合會、現代美術札幌展を開催	3 宇野浩二童話集『春を告げる鳥』	4 第2期北海道拓殖計画実施(20ヵ年計画) 11 治安維持法違反で集産党事件
1928	1 川崎昇が詩誌「信天翁」(東京)創刊 7 釧路で詩雑誌「至上律」創刊	4 辻村もと子『春の落葉』 11 小林多喜二「一九二八年三月一日」	3 共産党弾圧で道内250人検挙 6 日本放送協会札幌放送局開局
1929	1 代田茂樹ら歌誌「寒帯」創刊	11 下村千秋『月寒の女』 11 小林多喜二「不在地主」	6 駒ヶ岳が大爆発、365戸全壊
1930	1 小田観蜚ら歌誌「新墾」創刊	5 遠星北斗『遠星北斗遺稿コタン』	7 北海道アイヌ協会設立
1931	5 北海道美術家連盟、札幌で第1回展 与謝野寛、晶子が北大に招かれ来道、講演	4 バチエラー八重子『若きウタリに』 6 与謝野寛、晶子「北遊草」	8 リンドバーグ夫妻、根室に着水 この年、全道的に冷害凶作
1932	3 中沢茂、根室で個人誌「測量船」創刊	10 伊藤整『生物祭』	4 旭川市近文のアイヌ代表、上京して給与地付与、保護法撤廃 などを陳情 8 南部忠平がロス五輪で世界新で優勝
1933	2 小林多喜二、築地警察署で逮捕、虐殺 7 三岸好太郎ら創設の独立美術協会展	10 早川三代治『ラインのほとり』	1 根室で大吹雪、児童6人凍死
1934	5 林芙美子来道、樺太にも足を運ぶ	3 竹内てるよ「網走へ行く女」 6 久保栄戯曲集『五稜郭血書』	3 函館で大火、死者2165人
1935	8 北海道綴方教育連盟結成される	5 小熊秀雄『小熊秀雄詩集』	7 治安維持法違反で道内181人逮捕
1936	8 鶴田知也「コシヤマイン記」で第3回芥川賞 9 「北海道文学」が旭川で創刊	7 森田たま『もめん随筆』 10 鶴田知也『コシヤマイン記』	9 天皇、陸軍特別大演習で来道
1937	1 室蘭で歌誌「炭かすの街」創刊 6 ヘレン・ケラー女史が来道	4 坂本直行『山原野牧場』 7 森竹竹市『若きアイヌの詩集原始林』	4 日本航空輸送、札幌・東京間に定期航空路を開設 6 第5回冬期札幌五輪の開催決まる
1938	8 橋外男「ナリン殿下の回想」で第7回直木賞	5 伊藤整『青春』	9 ヒトラー・ユーゲントが支笏湖畔に
1939	4 並木凡平、室蘭の北海日日新聞入社	5 本庄陸男『石狩川』 6 長見義三『姫鱒』	6 第7師団ノモンハン事件に参加 9 第二次世界大戦始まる(45年まで) 12 ノ連船インディギルガ号、宗谷郡猿払沖で遭難
1940	2 寒川光太郎「密猟者」で第10回芥川賞 12 ジョン・バチエラー戦争切迫で日本を去る	2 吉田十四雄『百姓記』 7 森田たま『石狩少女』	1 テニヤン島飛行場建設へ囚人派遣へ
1941	4 北海道文芸協会結成。季刊「北方文芸」刊行	12 船山馨『北国物語』	1 大政翼賛会北海道支部が結成 11 択捉島の連合艦隊機動部隊が出航
1942	11 新聞11紙統合で北海道新聞誕生	4 寒川光太郎『北風ぞ吹かん』 5 辻村もと子『馬追原野』	1 家庭の鉄、銅製品の回収開始
1943	2 北海道文学報国会結成 8 石塚喜久三「纏足の頃」で第17回芥川賞	3 北海道歌人協会編『撃ちてし止まむ』 石上玄一郎『精神病理学教室』	3 鳩山農場の解放懇願するも拒否 12 壮瞥の畑で爆発噴煙。昭和新年に
1944	6 辻村もと子、第1回樋口一葉賞 8 八木義徳「劉廣福」で第19回芥川賞受賞 9 「北方圏」が札幌で創刊	7 越崎宗一『蠣崎波響小伝』 8 板東三百『屯田兵物語・熊の棲んでいた村』	1 発疹チフス蔓延し死者125人に
1945	4 福永武彦、帯広に疎開 11 国松登ら全道美術家協会設立 12 戦後初の同人誌「私たち」(北見)創刊	1 太宰治『新釈諸国断』	7 北海道各地を米軍機が空襲 8 第二次世界大戦終戦 10 米軍、函館・小樽・札幌・旭川などに進駐
1946	1 北海道に出版ブーム起こる 「北方風物」創刊 4 伊藤整、北大予科講師に(9月まで)	7 佐藤喜一『十勝泥流』 8 更科源蔵『北方動物記』	2 北海道アイヌ協会、静内で設立 3 道庁、緊急開拓事業を進める 11 日本国憲法公布

	5 総合文化誌「談論」(札幌)創刊 6 「北の女性」(愛別)創刊。百田宗治が命名 7 総合文芸誌「リベルタ」(札幌)創刊		12 樺太からの引き揚げ船
1947	5 北海道出版文化祭で柳田國男、小林秀雄ら文学者多数が来道 11 第1回北海道新聞文化賞に伊福部昭 12 文芸誌「文芸復興」(札幌)が創刊	2 久保栄『林園日記』 6 竹内てるよ『北のふるさと物語』	4 初の民選知事に田中敏文が当選 5 日本国憲法施行
1948	5 俳誌「氷原帯」創刊 6 太宰治、玉川上水にて自殺	4 伊藤整『街と村』 9 宇野千代『わたしの青春物語』 11 時雨音羽『島ものがたり』	1 帝銀事件で12人毒殺される 11 極東国際軍事裁判で判決
1949 *	本州資本の出版社の大半が北海道から撤退 2 「詩人種」(岩見沢)が加藤愛夫により創刊 6 芥川賞・直木賞が復活 10 同人誌「人間像」創刊	4 河邨文一郎『天地交驛』 6 中村武羅夫『明治大正の文学者』	5 支笏・洞爺、国立公園に指定 10 中華人民共和国が成立 12 湯川秀樹、ノーベル物理学賞受賞
1950	1 井上靖「闘牛」で第22回芥川賞 同人誌「札幌文学」(札幌)が創刊 5 「裸人群」創刊 6 「北海道文学」創刊 7 伊藤整訳の「チャトレイ夫人の恋人」発禁 9 今日出海「天皇の帽子」で第23回直木賞	3 竹内てるよ『わが愛の書』 伊藤整『鳴海仙吉』	2 第1回さっぽろ雪まつり開く 6 朝鮮戦争始まる(53年休戦) 北海道開発法施行、北海道開発庁発足
1951	7 安部公房「壁」で第25回芥川賞 9 加清純子参加の「青銅文学」創刊 10 「北大季刊」創刊	9 白山友正『北海道文学史』 9 亀井勝一郎『我が精神の遍歴』 12 三島由紀夫『夏子の冒険』	9 サンフランシスコ講和条約調印 10 札幌・東京間の民間航空再開
1952	1 久生十蘭「鈴木主水」で第26回直木賞 11 釧路で「北海文学」創刊	2 久保栄『のぼり窯』 7 中山正男『馬喰一代』正統	1 「白鳥事件」起きる 3 十勝沖地震、死者30人 4 北海道総合開発第1次5カ年計画を実施
1953	4 「文学1953年」創刊	4 知里真志保『分類アイヌ語辞典植物篇』 6 小山清『落穂拾ひ』	7 道内各地で水害相次ぐ 11 札幌・千歳間に弾丸道路開通
1954	4 中城ふみ子第1回『短歌研究』50首詠特選 5 「山音文学」創刊	7 中城ふみ子歌集『乳房喪失』 11 畔柳二美『姉妹』	8 米駐留軍、北海道から撤退を開始。かわって自衛隊の移駐はじまる 9 台風15号で洞爺丸沈没、岩内大火
1955	6 原田康子、「北海文学」に「挽歌」連載開始	9 佐藤喜一『北海道文学史稿』	7 道内一帯に水害、死者不明46人
1956	1 石原慎太郎「太陽の季節」で第34回芥川賞 和田徹三が詩誌「湾」(札幌)創刊 7 「凍橋」(6号から「くりま」)創刊	3 久保寺逸彦『アイヌ文学序説』 12 原田康子『挽歌』	3 津軽海峡に機雷出現、連絡船に影響 4 根釧原野パイロット・ファームの入植開始 12 NHK札幌中央放送局のテレビ開局
1957	1 今東光「お吟さま」で第36回直木賞 2 原田康子『挽歌』で第8回女流文学賞	5 原田康子『サピタの記憶』 12 石森延男『コタンの口笛』上下	3 北海道放送(HBC)、テレビ放送開始 10 ソ連人工衛星スプートニク打ち上げ
1958 *	石森延男が第1回未明文学賞 12 道新で道内同人誌雑誌秀作評始まる	2 福永武彦『心の中を流れる河』 6 武田泰淳『森と湖のまつり』	2 強制連行の劉連仁、穴居で発見 4 北海道総合開発第2次5カ年計画実施 7 北海道大博覧会開幕(札幌・小樽)
1959	7 渡辺喜恵子『馬淵川』で第41回直木賞 9 北海道青年歌人会結成	4 高城高『微かなる弔鐘』 中沢茂『助命嘆願』	4 北海道知事に町村金五が就任 7 千歳飛行場、米軍から日本側に返還
1960	12 釧路市編「釧路叢書」創刊	9 戸川幸夫『オホーツク老人』 12 開高健『ロビンソンの末裔』	5 太平洋沿岸でチリ地震津波災害 6 60年安保めぐり全国で闘争
1961	12 有島武郎記念会発足	7 南部樹未子『乳色の墓標』 11 今官一『牛飼いの座』	4 北海道アイヌ協会、北海道ウタリ協会と改称 10 大鵬が史上最年少で横綱昇進
1962	1 宇野鴻一郎「鯨神」で第46回芥川賞 9 有島武郎文学碑、大通公園に建立	1 中沢茂『連帯孤独』 12 串田孫一『北海道の旅』	6 十勝岳が爆発、5人行方不明に 12 陸上自衛隊島松演習場で、地元酪農民が通信線を切断(恵庭事件)
1963	有島青少年文芸賞が創設される 12 「北の話」創刊	1 沢野久雄『受胎告知』 7 朝日新聞支社編『北海道文学散歩』	4 第2期北海道総合開発計画を実施 6 日ソコンプ協定調印、貝殻島操業 7 北海道で皆既日食
1964	1 和田芳恵が「塵の中」で第50回直木賞受賞 7 旭川の主婦の三浦綾子が朝日新聞の1千万円懸賞小説に「氷点」で1位入選	6 佐藤春夫『わが北海道』 7 鳥居省三『釧路文学運動史』	8 北海道の鳥にタンチョウ選定 10 第18回オリンピック東京大会開催
1965	2 「北海道考古学」創刊 10 小林多喜二文学碑建立記念で文芸講演会	9 和田謹吾『風土のなかの文学』 11 三浦綾子『氷点』	7 戦後初のサハリン墓参団出発 11 中国で文化大革命始まる
1966	10 北海道文学展を札幌で開催 北海道文学集会を開催	3 江原光太『狼・五月祭』 10 加藤多一『北海道の児童文学』	11 3年連続の冷害で被災農家14万戸
1967	4 北海道文学館が創立総会、理事長に更科源蔵 10 第1回北海道新聞文学賞に佐藤喜一 有島武郎文学展を札幌で開催	6 北海道新聞社編『物語・北海道文学盛衰史』 8 船山馨『石狩平野』	3 札幌地裁、恵庭事件で無罪判決 10 羽田闘争で京大生・山崎君死亡
1968	1 「北方文芸」が創刊号発行 10 川端康成がノーベル賞受賞 札幌で近代文学百年展	6 李恢成『またふたたびの道』 9 三浦綾子『塩狩峠』 10 木山捷平『斜里の白雪』	5 十勝沖地震でM7・8 8 和田札幌大教授が日本初の心臓移植 9 北海道百年記念祝典を札幌市円山競技場で開催
1969	4 北海道ノンフィクションクラブ発足 6 札幌で北海道旅の文学展開く	1 三浦綾子『道ありき』 12 吉村昭『神々の沈黙』	1 東京大学安田講堂で攻防戦 11 北大本部封鎖解除で機動隊3千人
1970	5 小樽市塩谷に伊藤整文学碑建立 7 渡辺淳一『光と影』で第63回直木賞受賞 11 札幌で伊藤整・亀井勝一郎文学展	8 和田芳恵『私の内なる作家たち』 11 鳩沢佐美夫『対談アイヌ』	4 北海道立図書館に北方資料室
1971	4 川端康成、ガス自殺、72歳 9 北方文芸社が第1回北海道文学まつり	4 八木義徳『摩周湖』 5 渡辺淳一『リラ冷への街』	4 第3期北海道総合開発計画実施 北海道知事に堂垣内尚弘が就任 12 札幌市営地下鉄南北線が開通
1972	1 李恢成「砧をうつ女」で第66回芥川賞 7 網淵謙錠『斬』で第67回直木賞	6 木野工『襦袢』 9 三好文夫『シャクシャインが哭く』 12 小笠原克『く日本へ架ける橋』	2 第11回冬季オリンピック札幌大会開幕 連合赤軍、軽井沢で籠城 4 札幌市、政令指定都市となる 5 沖縄が日本に復帰
1973	10 札幌で久保栄文学展 11 北海道文学資料展示室オープン	6 澤田誠一『斧と楡のひつぎ』 8 鳩沢佐美夫作品集『コタンに死す』 11 渡辺淳一『阿寒に果つ』	9 長沼ナイキ訴訟で自衛隊違憲判決
1974	9 札幌市資料館で北海道女流文学展 10 春山希義「雪のない冬」で第39回文学界新人賞受賞	3 李恢成『北であれ南であれわが祖国』 5 三好文夫『重い神々の下僕』 武井静夫『若き日の伊藤整』	11 田中首相、金脈問題で退陣表明
1975	8 札幌市資料館で戦後30年・北海道文学展	3 木原直彦『北海道文学史・明治編』	4 ベトナム戦争終結

	10 木原直彦が第9回北海道新聞文学賞 11 河邨文一郎が第29回北海道新聞文化賞	5 荒巻義雄『空白の十字架』 11 渡辺淳一『冬の花火』 佐々木丸美『雪の断章』	
1976	10 詩と創作「黎」創刊 12 外岡秀俊「北帰行」で第13回文芸賞	7 加藤多一『ふぶきだ走れ』 11 小檜山博『出刃』	3 北海道庁で時限爆弾爆発 9 ソ連のミグ25戦闘機が函館空港に強行着陸、乗員アメリカに亡命
1977	11 「北海道読書新聞」(後に「読書北海道」と改題)創刊準備号発行	3 三浦綾子『泥流地帯』 5 吉村昭『熊嵐』 9 五木寛之『海峡物語』	7 北海道立近代美術館開館 8 有珠山噴火 9 日本赤軍が日航機乗っ取り
1978	4 有島記念館(ニセコ町)開館 7 高橋揆一郎「伸予」で第79回芥川賞 11 小樽文学館開館	1 小笠原克『北海道 風土と文学運動』	8 根室で初の全国的返還要求大会
1979	7 宮尾登美子『一絃の琴』で第80回直木賞 重兼芳子「やまあいの煙」で第81回芥川賞 12 「北海道文学全集」全22巻別巻1刊行開始	9 寺久保友哉『恋人たちの時刻』 10 上西晴治『コンヤマインの末裔』 11 高橋揆一郎『北の旗雲』	5 スモン訴訟で国に損害賠償命令
1980	1 佐藤泰志「もうひとつの朝」で第16回作家賞 3 渡辺淳一、第14回吉川英治文学賞受賞 11 第1回北海道勤労者文学集会開く	5 吉村昭『冬の海』 7 萩中美枝『アイヌの文学ユーカラへの招待』 8 合田一道『流水の海に女工節が聴える』 9 船山馨『茜いろの坂』	6 初の衆・参両院同日選挙 9 イラン・イラク戦争が本格化
1981	3 船山馨、第15回吉川英治文学賞受賞 11 「北海道文学全集」全22巻別巻1完結	3 八木義徳『一枚の絵』 4 高橋揆一郎『夏の月』	10 北炭夕張新鉱でガス突出事故 12 ポーランド、戒厳令布告
1982	3 小松伸六、第32回芸術選奨文部大臣賞受賞 4 吉田十四雄、農民文学特別賞受賞 5 八匠衆一、第10回平林たい子賞受賞	1 上西晴治『原野のまつり』 2 中沢茂『紙飛行機』 10 村上春樹『羊をめぐる冒険』	6 東北新幹線開業 米ソ戦略兵器削減交渉開始 8 石狩湾新港開港 10 北炭夕張鉱閉山
1983	1 加藤幸子「夢の壁」で第88回芥川賞 2 小林多喜二没後50周年の夕べ(小樽市) 6 金子きみ、第11回平林たい子賞 11 小檜山博、第11回泉鏡花文学賞	6 原田康子『風の砦』(上下) 7 小檜山博『光る女』 10 鳥居省三『異端の系譜』 11 吉村昭『破獄』	* パソコン、ワープロ急激に普及 4 北海道開拓の村開村 北海道知事に横路孝弘が就任 5 日本海中部地震 * 連続テレビ小説「おしん」ブーム 10 ロッキード事件判決
1984	4 北海道児童文学全集展を札幌で開催 7 小笠原克、札幌で文学伝習所開催 8 「北方文芸」を励ます会開く	8 『北海道児童文学全集』(全15巻、完結) 9 北大放送教育研究会編『北海道文学の系譜』 12 土居良一『夜界』	3 グリコ事件 5 道ウタリ協会、総会で「アイヌ民族に関する法律(案)」を採択 9 森永事件
1985	7 『北海道新鋭小説集』第10集で終刊 9 北海道文学館初代理事長・更科源蔵没。81歳	1 小檜山博『地の音』 10 北海道文学館編『北海道文学大事典』	8 日航ジャンボ機墜落(御巣鷹山)
1986	5 北海道文学館第二代理事長に和田謹吾就任 7 札幌・南区に芸術の森オープン 9 石川啄木生誕100年で展覧会など開催	3 荒澤勝太郎『樺太文学史 I』 8 三浦綾子『嵐吹く時も』 11 坂本幸四郎『新興川柳運動の光芒』	4 男女雇用機会均等法施行 チェルノブイリ原発事故(ソ連) 5 三菱南大夕張炭鉱でガス爆発、死亡62人
1987	4 連続講座「北海道文学へのいざない」(7月まで) 5 北海道文学館20周年で小田切進ら来札 9 北海道立文学館建設期成会が発足	4 萱野茂『アイヌの里・ニ風谷に生きて』	4 国鉄、分割民営化でJR6社に 10 利根川進、ノーベル医学・生理学賞受賞
1988	1 池澤夏樹、三浦清宏、第98回芥川賞受賞 10 港の文学館(室蘭市)開館 11 北海道文学館が任意団体から財団法人化	2 池澤夏樹『スティル・ライフ』 三浦清宏『長男の出家』	3 青函連絡船廃止、JR津軽海峡線(函館・青森間)開業 東京ドーム落成 6 リクルート事件 7 新千歳空港開港
1989 平成元	1 札幌在住の藤堂志津子が「熟れてゆく夏」で第100回直木賞 4 絵本・児童文学研究センター(小樽市)開所 6 北海道文学館が第1回北海道文学者集会開く	2 八木義徳『夕虹』 4 小檜山博『鏡の裏』 10 佐々木譲『エトロフ発緊急電』 11 吉村昭『死のある風景』	1 昭和天皇崩御。新元号が「平成」となる 6 中国・北京で天安門事件 北電の泊原発一号機営業運転を開始 9 北炭幌内炭鉱、110年で幕 11 ベルリンの壁、崩壊
1990	6 第1回伊藤整文学賞授賞式(小樽市) ※大江健三郎(小説)、秋山駿(評論)受賞 10 札幌で「北のロマンを奏でる渡辺淳一」展	7 渡辺淳一『うたかた』上下 9 菱川善夫『菱川善夫評論集』 11 谷村志穂『結婚しないかもしれない症候群』	11 雲仙普賢岳(長崎県)噴火 天皇、即位の礼
1991	4 剣淵町絵本の館開館 6 久保栄「林檎園日記」文学碑除幕式 伊藤整文学賞で大江健三郎が記念講演	3 高橋揆一郎『友子』 12 渡辺淳一『メレス愛人』	1 湾岸戦争に突入 2 バブル景気、崩壊へ 8~ ソ連邦、解体から消滅へ 12
1992	1 札幌で「《サハリン》への想像力」講演会 11 丸井今井前に武林無想庵生誕地の標示板	1 神谷忠孝『葛西善蔵論雪をんなの美学』 3 三浦綾子『母』	5 「朝日ジャーナル」休刊
1993	3 函館市文学館開館 7 オホーツク文学館(生田原=現遠軽町)開館 井上靖記念館(旭川市)開館	2 工藤正廣『ロシア・詩的言語の未来を読む』 6 池澤夏樹『マシアス・ギリの失脚』 9 吉村昭『ニコライ遭難』	* 国際先住民年 7 北海道南西沖地震 この年、戦後最悪の凶作で米不足起こる
1994	6 北海道近代文学懇話会設立 10 大江健三郎、ノーベル文学賞受賞 11 李恢成、第47回野間文芸賞受賞	3 三浦綾子『銃口』上下 9 李恢成『百年の旅人たち』上下	7 アイヌ民族出身の萱野茂(社会党)、参議院議員に当選 10 北海道東方沖地震
1995	1 北海道文学館第三代理事長に澤田誠一就任 9 北海道立文学館(札幌市)開館	2 鎌田純一『凍裂』上下 7 山口昌男『「敗者」の精神史』	1 阪神・淡路大震災 3 東京で地下鉄サリン事件 4 北海道知事に堀達也が就任
1996	* 渡辺淳一の新聞連載小説「失楽園」のブーム、前年から続く(97年まで) 10 同人誌「季節」(吉井よう子)創刊	2 平野温美『白い月』 3 北海道文学ライブラリー「船山馨」	2 豊浜トンネル事故で20人死亡
1997	1 辻仁成「海峡の光」で第116回芥川賞 3 「北方文芸」休刊(通巻350号)	2 渡辺淳一『失楽園』上下 辻仁成『海峡の光』 3 原田康子『聖母の鏡』	4 消費税5%に引き上げ施行 7 アイヌ文化振興法施行、「北海道旧土人保護法」廃止 11 北海道拓殖銀行が破綻
1998	6 三浦綾子記念文学館(旭川市)開館 渡辺淳一文学館(札幌)開館	3 『萱野茂のアイヌ神話集成』(全10巻)	2 第18回冬季オリンピック長野大会開幕 9 北海タイムス社倒産
1999	7 桐野夏生『柔らかな頬』で第121回直木賞 10 三浦綾子没。77歳	9 吉井よう子『伐り株・水晶林』 11 なかにし礼『長崎ぶらぶら節』	9 北洋銀と札銀が包括業務提携合意
2000	1 なかにし礼「長崎ぶらぶら節」で第122回直木賞 8 道立文学館で『北緯五十度』の詩人たち展 11 道立文学館副館長の西村信が事故で急逝	4 池澤夏樹『花を運ぶ妹』 8 桃谷方子『青空』 9 小檜山博『風少年』	3 有珠山爆発 7 二千元札が発行される
2001	5 東直己『残光』で第54回日本推理作家協会賞	3 松尾真由美詩集『密約—オブリガート』 10 木原直彦『千島文学の旅』	9 米で同時多発テロ、世界貿易センタービルが倒壊

2002	1 長嶋有「猛スピードで母は」で第126回芥川賞 3 桜木紫乃「雪虫」で第82回オール讀物新人賞 6 北海道文学館第四代理事長に神谷忠孝就任	6 小檜山博『光る大雪』 8 蜂谷涼『ちぎり屋』 9 谷村志穂『海猫』 10 原田康子『海霧』上下	1 釧路市の太平洋炭鉱が閉山 10 ノーベル賞、日本初のダブル受賞（物理学賞・小柴昌俊、化学賞・田中耕一）
2003	4 原田康子『海霧』で第37回吉川英治文学賞 10 渡辺淳一が第51回菊池寛賞 11 藤堂志津子『秋の猫』で第16回柴田錬三郎賞	2 吉村昭『大黒屋光太夫』上下 9 池澤夏樹『静かな大地』	3 米英軍、イラク攻撃開始（イラク戦争） 4 北海道知事に高橋はるみが就任 9 指定管理者制度施行 12 地上デジタルテレビ放送開始
2004	1 京極夏彦『後巷説百物語』で第130回直木賞 10 保阪正康、第52回菊池寛賞を受賞	10 馳星周『長恨歌』 11 辻仁成『代筆屋』 12 佐々木譲『うたう警官』	10 新潟県中越地震
2005	11 北海道立文学館開館10周年で吉村昭記念講演会ほか開催	6 李恢成『地上生活者』（第一部） 10 澤田誠一『平岸村』	4 個人情報保護法施行
2006	3 乾ルカ『夏光』で第86回オール讀物新人賞 4 梯久美子『散るぞ悲しき』で第37回大宅壮一ノンフィクション賞 5 萱野茂没。81歳	3 佐々木譲『制服捜査』 5 渡辺淳一『愛の流刑地』上下 11 宇江佐真理『雨を見たか』	10 北朝鮮が核実験
2007	* ケータイ小説がブームとなる 5 長嶋有『夕子ちゃんの近道』で第1回大江健三郎賞 10 『佐藤泰志作品集』（クレイン）話題呼ぶ	7 柄刀一『密室キングダム』 9 川村湊『牛頭天王と蘇民将来伝説』 11 喜多由布子『知床の少女』	10 郵政民営化スタート
2008	4 見延典子『頼山陽』で第27回新田次郎賞 6 穂村弘『短歌の友人』で第19回伊藤整文学賞	9 時田則雄『ポロシリ』 10 桜木紫乃『風葬』	11 米大統領（第44代）にバラク・オバマが当選
2009	3 朝倉かずみ『田村はまだか』で第30回吉川英治文学新人賞 10 千早茜『魚神』で第37回泉鏡花文学賞	10 文月悠光『適切な世界の適切ならざる私』 10 馳星周『沈黙の森』	5 裁判員制度施行
2010	1 佐々木譲『廃墟に乞う』で第142回直木賞 7 赤染晶子「乙女の密告」で第143回芥川賞 9 知里幸恵銀のしずく記念館（登別市）開館	5 乾ルカ『あの日にかえりたい』 9 小檜山博『漂着』 10 桃谷方子『修羅婚』	3 札幌でグループホーム火災7人死亡 10 鈴木章、根岸栄一、ノーベル化学賞
2011	2 桐野夏生『ナニカアル』で第62回讀賣文学賞 4 水原涼「甘露」で第112回文学界新人賞	3 池澤夏樹個人編集『世界文学全集』30巻完結 10 喜多由布子『隣人』 11 渡辺一史『北の無人駅から』	3 東日本大震災、福島原発事故
2012	1 円城塔「道化師の蝶」で第146回芥川賞 11 山下澄人「緑のさる」で第34回野間新人賞	1 円城塔『道化師の蝶』 2 佐川光晴『静かな夜』	1 札幌・白石で40代姉妹が孤立死
2013	7 桜木紫乃『ホテルローヤル』で第149回直木賞受賞	9 穂村弘『蚊がいる』 10 桜木紫乃『蛇行する月』	5 三浦雄一郎、80歳でエベレスト制覇 12 特定秘密保護法公布
2014	6 伊藤整文学賞が第25回で終了 6 北海道文学館第五代理事長に工藤正廣就任 8 池澤夏樹が北海道立文学館館長に就任 11 河崎秋子「颯風の王」で第1回三浦綾子賞	5 岡和田晃編『北の想像力』 千早茜『男ともだち』 6 乾ルカ『モノクローム』	2 葛西紀明、冬季五輪で最年長メダル 4 消費税率8%に引き上げ 12 理研、STAP細胞不正認める
2015	11 宇江佐真理が死去。66歳	8 円城塔『シャッフル航法』 まさきとしか『きわこのこと』 11 池澤夏樹『砂浜に坐り込んだ船』	6 砂川で一家5人死傷の暴走事故 10 マイナンバー法施行
2016	4 作家佐藤泰志の追悼展を道立文学館で開催 9 渡辺淳一文学館、青島出版集団に譲渡	3 加藤幸子『十三匹の犬』 10 梯久美子『狂うひと』	3 北海道新幹線が新函館北斗まで開業 8 道内を台風が連続直撃し被災 10 北海道日本ハムファイターズが日本一に
2017	1 山下澄人「しんせかい」で第156回芥川賞 7 沼田真佑「影裏」で第157回芥川賞 7 佐藤正午『月の満ち欠け』で第157回直木賞		
2018	7 氷室冴子青春文学賞を創設		
2019			
2020			